

浦島伝説

令和7年5月9日

第5号

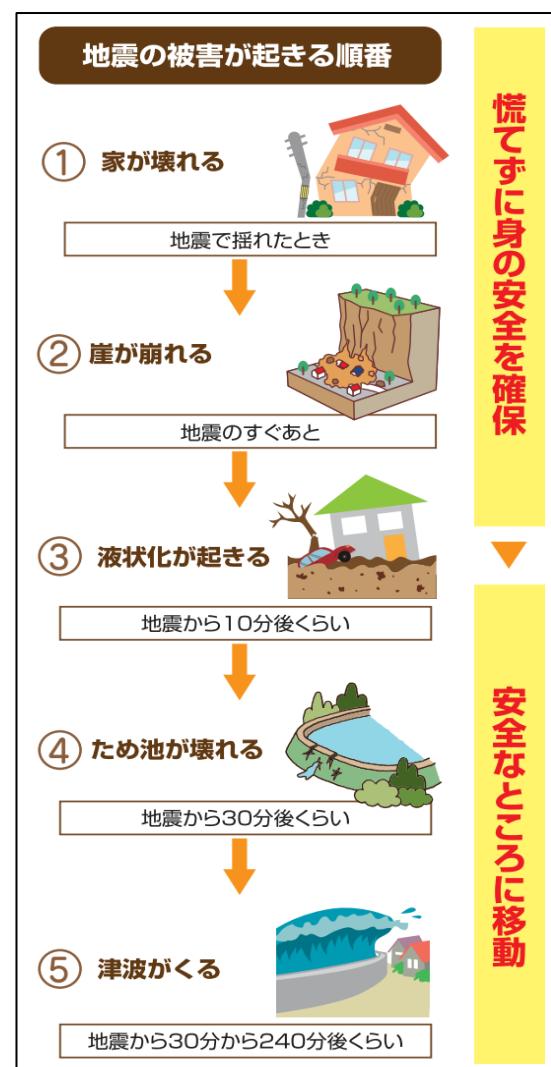
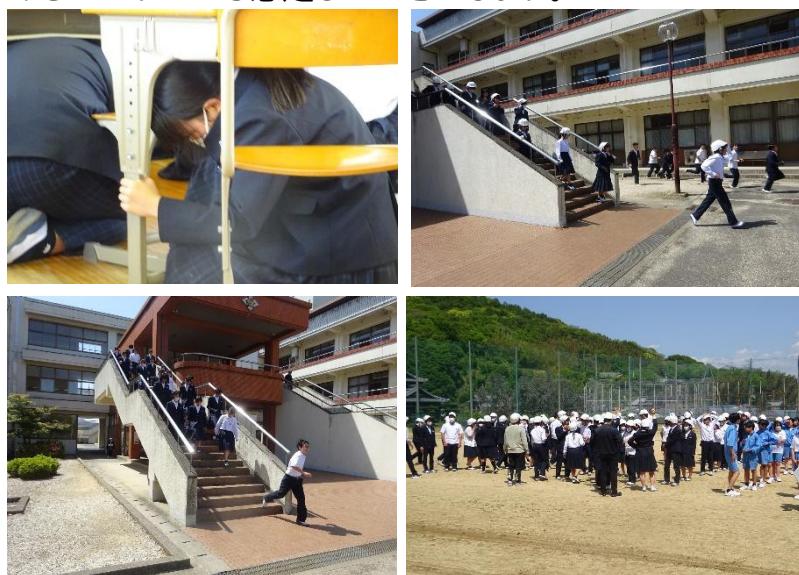


自分の命は自分で守る！ 気づいて、考えて、行動しよう

5月7日(水)に、地震・火災を想定した避難訓練を実施しました。5校時終了時に、大きな揺れが発生し、揺れがおさまった後に火災が発生したとの想定で、素早く運動場に避難する訓練を行いました。「おかしもち」(お・おさない。か・かけない。し・しゃべらない。も・もどらない。ち・ちかよらない。)を守って、全員運動場に避難しました。今回の訓練では、地震発生後、給食調理場から火災が発生したと想定しましたが、火事の煙を吸い込まないようにするために、ハンカチで口を押さえる、火事の煙は高いところに集まるので、姿勢を落として避難することも覚えておきましょう。

地震や火災はいつ、どこで発生するかわかりません。休日や放課後、友達と遊んでいる時や家庭で過ごしている時かもしれません。ご家庭でも万が一に備えて、避難経路などを確認し「自分の命は自分で守る」ことをしっかり話し合いをしていただきたいと思います。この機会に再度地震の危険性について認識し、実際に地震が発生したら自分はどう行動するのか、おうちの人とどう連絡を取り合うのか、各自準備しておくようにしてください。

南海トラフを震源とする巨大地震が発生すると、右図の「地震の被害が起きる順番」に示すように複合した災害が発生するもと考えられます。三豊市では広い範囲で震度7から震度6弱の揺れが想定されます。学校でいるときに津波がくると判断された場合、寶林寺に避難することがあるということも想定しておきましょう。



▲「三豊市防災マップ」より抜粋